

2020年度 ケーブルテレビ放送番組審議会 (ゆうがおチャンネル) 議事録

1. 概要

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書類による審議

審議資料を郵送し回答を求め、審議委員総数 11 名うち 11 件の回答がありました。

2. 審議委員（敬称略）

広瀬 寿雄	会 長	（下野市長）
小菅 一弥	副会長	（壬生町長）
星野 光利	副会長	（上三川町長）
長 光 博	委 員	（下野市商工会 会長）
吉 田 宗 司	委 員	（石橋商工会 会長）
青 木 隆 司	委 員	（壬生町商工会 会長）
宮 崎 哲	委 員	（上三川町商工会 会長）
森 平 芳 彦	委 員	（下野警察署長）
須 田 実	委 員	（石橋地区消防組合消防本部消防長）
井 上 永 子	委 員	（下野市男女共同参画推進委員会職務代理者）
荒 川 千 代	委 員	（壬生町女性団体連絡協議会 会長）

3. 報告事項

【全体】

- （1）委員の委嘱に関する報告
- （2）放送エリア及び加入状況に関する報告
- （3）ケーブルテレビの取り組みに関する報告（2020 年度）
- （4）昨年の審議会でのご指摘・進捗状況報告

【コミュニティチャンネル関連】

- （1）2020 年 ゆうがおチャンネルに関する報告
- （2）主なレギュラー番組に関する報告（2020 年度実施）
- （3）特別番組に関する報告

4. 議事

(1) 事前に視聴した番組に関する意見・質問

【対象となる番組】

〈ニュース〉

YOU 顔マルシェ (2020 年 7 月 28 日放送)

YOU 顔マルシェ (2020 年 11 月 3 日放送)

〈自治体広報番組〉

しもハピチャンネル (2020 年 11 月放送)

みぶホッとチャンネル (2020 年 11 月放送)

チャンネルかみたん (2020 年 10 月放送)

〈参考〉

「新型コロナウイルス感染症私たちはどう対応していくか」

質問・回答

■YOU 顔マルシェ (2020 年 7 月 28 日放送)

■YOU 顔マルシェ (2020 年 11 月 3 日放送)

【委員】マイクを共用しない方法を検討してはどうか。また生中継の食べ物の紹介の場面で、リポーターが試食後にマスクを着用せずにせずに説明していたが、話すときはマスクを着用することで、視聴者の感染予防の啓発につながると思う。(同様意見 1 件)

【CATV】申し訳ありません。現在は、リポーターは、基本的にはマスクを着用し、試食のときのみマスクを外すなどの対策を実施しております。ニュースでは、ソーシャルディスタンスを保った出演で放送しています。

【委員】生中継の際にリポーターと出演者の対談形式で同じ映像が長く続いている印象がある。リポーターが歩きながら店舗を紹介する様子や注文する様子も撮れれば、特集感を演出できるのではないか。

【委員】リポート中に周囲を気にしている様子があつたがなにかあつたのか？

【CATV】リポーターの出演につきましては、今後もより良い方法を検討します。また少人数での中継のため、リポーター自身が周囲の状況を確認する必要があるため、時折、確認する仕草が出てしまいますが、できるだけ視聴者の方が違和感を持たないような放送を心がけて参ります。

【委員】市民からのクチコミ情報を活かした紹介やリレー式に店舗の紹介をしていく企画があると面白い。

【委員】地域で頑張っている若手の芸術家・音楽家の紹介する企画があると良い。

【CATV】「YOU 顔マルシェ」「う・ら・ら」をはじめ、集まった情報を企画番組として放送するよう取り組んで参ります。

【委員】ニュース内のコロナ感染者情報は色分けされていてわかりやすかった。

【委員】地元らしさやリポーターの質問の仕方、説明の仕方が大変よかった。

【委員】様々な形で地元の今をレポート紹介していた。関心を高めることができた。

■しもハピチャンネル（2020年11月放送）

■みぶホッとチャンネル（2020年11月放送）

■チャンネルかみたん（2020年10月放送）

【委員】各自治体の番組においてもインサートの表示などはわかりやすいが、テロップのフォントなどが統一できればより見やすくなると思う。

【委員】壬生ホッとチャンネルは、演出方法の変更をしたが、自治体ごとに特色が出て良い結果になったと思う。今後も視聴者を飽きさせない演出を続けたい。

【委員】各自治体の職員が情報を丁寧に紹介していて、需要喚起の一助になっていると思う。自分の住む地域をもっと知ろうという気持ちを引き起こすことができると感じた。

【委員】市長の話などは、なかなか聞く機会がないが、映像を通してうかがえることは市民としては嬉しい限り。

【委員】壬生に「壬生城」があることを初めて知った。近いうちに訪れたい。

【CATV】テロップを含めた表記については、番組ごとに特色を出すために意図的にフォントは変更しています。より見やすい方法を実施してまいります。

■〈参考〉「新型コロナウイルス感染症私たちはどう対応していくか」

【委員】医師からの分かりやすい説明や対応策などを周知していたので理解しやすい。
（同様意見2件）

【委員】緊急事態宣言は解除されたが、コロナウイルスに関する情報提供はぜひ継続してほしい。

【CATV】現在は、AIアナウンサーを活用した新型コロナウイルスの感染者情報や、データ放送での最新の情報を随時更新しております。今後も、市民・町民の方に向けた情報を継続して放送してまいります。

(2) コミュニティチャンネルに関する意見・感想

- 【委員】地域の人々は、刻々と変化する新型コロナウイルス感染症に関する情報を望んでいる。地域における感染状況や地元企業の対策、飲食店のテイクアウト情報など日々の生活情報が放送されている。今後も視聴者が望んでいる情報を見極め、地域コミュニティならではの番組を制作してほしい。
- 【委員】コロナ禍にも関わらず、新しい取り組みをしていることに感謝する。今後も変化を恐れずに新鮮な番組制作をしてほしい。
- 【委員】地域密着の情報をタイムリーに現場から放送されているので親近感がわく。
- 【委員】まだまだ一般に認知されていない隠れた地域情報や新たな情報を発掘いただき、広く周知を図ってほしい。
- 【委員】人が話している内容などはテロップを増やすとよりわかりやすい。
- 【CATV】テロップによるフォローは、ニュース番組では表示していますが、他の番組でも実施できるよう検討してまいります。
- 【委員】テレビという媒体を通して真に地域住民に寄り添う放送ができるのがケーブルテレビの特徴だと思うので、住民にも大きなメリットがある。今後も地域に根差した放送を希望する。
- 【委員】レギュラー番組だと、おおきくなったら、八百万の神、わらしべちゃんねるをよく見ている。また一昨年 of 公民館の文化祭の様子も良かった。
- 【委員】地域の出来事や様子が、テレビを通してみられるので、友人・知人とのコミュニケーションにつながる。今後も地域密着の映像を楽しみにしてみます。
- 【委員】毎日の感染者数の情報、コロナ対策の紹介、テイクアウト店の情報などに力を入れたところが、タイムリーで感心した。
- 【CATV】地域の身近な情報をタイムリーにお届けしていくのが、コミュニティチャンネルの役割です。新型コロナウイルスなど速報性が求められる情報も多いため、今後も地域と連携を深めて、よりよい放送ができるよう努めて参ります。

以上